

地域における連携

～MSWの視点から～

ソーシャルワーカーは以下に示す「社会的役割」を有する職種です。MSWも医療機関内部に留まらず、地域活動に取り組むことが業務指針として掲げられ、近年では地域共生社会の実現に向けて機能発揮も求められています。

この地域の連携についてMSWの視点から提起を受けて議論しましょう。

今後、ますます求められるソーシャルワークの機能	
○ ソーシャルワークには様々な機能があり、地域共生社会の実現に資する「包括的な相談支援体制の構築」や「住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくり」を推進するにあたっては、こうした機能の発揮がますます期待される。	
地域共生社会の実現 制度を対象としない生活課題への対応や複合的な課題を抱える世帯への対応等、多様化・複雑化するニーズへの対応や、全ての地域住民が地域、暮らし、生きがいと共に暮らし、高め合うことができる社会	
地域共生社会の実現に必要な体制の構築	
包括的な相談支援体制の構築	住民主体の地域課題解決体制
ソーシャルワークの機能を発揮することによる体制づくりの推進	
<ul style="list-style-type: none">● 支援が必要な個人や家族の発見● 地域全体の課題の発見● 相談者の社会的・心理的・身体的・経済的・文化的側面のアセスメント● 世帯全体、個人を取り巻く集団や地域のアセスメント● 問題解決やニーズの充足、社会資源につなぐための仲介・調整● 新たな社会資源の開発や施策の改善に向けた提案● 地域アセスメント及び評価● 分野横断的・業種横断的な社会資源との関係形成● 情報や意識の共有化● 団体や組織等の組織化並びに機能や役割等の調整● 相談者の権利擁護や意思の尊重にかかる支援方法等の整備● 人材の育成に向けた意識の醸成	<ul style="list-style-type: none">● 地域社会の一員であるということの意識化と実践化● 地域特性、社会資源、地域住民の意識等の把握● 福祉課題に対する関心や問題意識の醸成、理解促進、課題の普遍化● 地域住民のエンパワメント● 住民主体の地域課題の解決体制の構築・運営にかかる助言・支援● 担い手としての意識の醸成と機会の創出● 住民主体の地域課題の解決体制を構成する地域住民と団体等との連絡・調整● 地域住民と社会資源との関係形成● 新たな社会資源を開発するための提案● 包括的な相談支援体制と住民主体の地域課題解決体制との関係性や役割等に関する理解促進
11	

『われわれソーシャルワーカーは、すべての人が人間としての尊厳を有し、価値ある存在であり、平等であることを深く認識する。われわれは平和を擁護し、社会正義、人権、集団的責任、多様性尊重および全人的存在の原理に則り、人々がつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現をめざす専門職であり、多様な人々や組織と協働することを言明する。われわれは、社会システムおよび自然的・地理的環境と人々の生活が相互に関連していることに着目する。社会変動が環境破壊および人間疎外をもたらしている状況にあって、この専門職が社会にとって不可欠であることを自覚するとともに、ソーシャルワーカーの職責についての一般社会および市民の理解を深め、その啓発に努める。』

【ソーシャルワーカーの倫理綱領からの抜粋】

講演：「地域における連携 ～MSWの視点から～」

講師：北海道医療ソーシャルワーカー協会 中央E支部支部長 沼田考広さん
イムス札幌内科リハビリテーション病院 医療相談室

日時：2022年6月9日(木) 18:30～

申込み：フォーム又は在宅ケア連絡会HPよりお申し込みください

<https://forms.gle/yeDNUG3rbkjWEWKUA>

問合せ：西区在宅ケア連絡会 info@zaitaku-care.info
札幌市医師会西区支部 011-611-4181



その他：参加用のzoom招待URLはフォーム回答後メールが自動で送信されます。メールが届かない場合、「入力されたメールアドレスの間違え」・「迷惑メールへの振り分け」などの可能性があります。ご確認の上、再度お申し込みいただくか、info@zaitaku-care.infoまでご連絡ください。

主催：札幌市医師会西区支部・西区在宅ケア連絡会